

授業科目 体カトレーニング論実習Ⅱ

【担当教員名】 柵木 聖也		対象学年	3	対象学科	スポ
		開講時期	後期	必修・選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：GI0】 基本的なトレーニング理論に対する理解を基盤として、より実践的な体カトレーニングの実施方法、および部位別の個々のスポーツ傷害に特化したアスレティックリハビリテーション実施方法を学ぶ					
【学習目標・行動目標：SB0】 スポーツ医学の発展により、体カトレーニングはこの四半世紀で大きな変貌を遂げた。旧態依然の経験主義・精神主義は影を潜め、より科学的な手法を用いて人体の様々な能力を向上させつつ、その結果を定量的に測定・評価した上で次のステップへと選手を導いてゆくのが現在のトレンドとも言えよう。本実習では、このようなトレーニングの手法を実践的に学びつつ、夏期休暇中には学生自身による最新のトレーニング手段に関する調査を課する。また後期には、アスレティックリハビリテーションと体カトレーニングが密接な関係を持つことから、前者に着目して実践的なリハビリテーションプログラムをトレーニングの観点から立案できるような能力の開発を目指す。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	上肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション (1) 肩関節前方脱臼				
2	上肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション (2) 投球傷害肩				
3	上肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション (3) 肘MCL損傷、上腕骨内外側上顆炎				
4	体幹のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション (1) 頸椎捻挫				
5	体幹のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション (2) 腰部疾患				
6	下肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション (1) 足関節捻挫				
7	下肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション (2) 膝MCL・ACL・MM・LM損傷				
8	下肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション (3) 大腿伸筋・屈筋群の肉離れ				
9	下肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション (4) 鵞足炎、膝蓋大腿関節障害、タナ障害等				
10	下肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション (5) 扁平足障害、脛骨過労性骨障害				
11	アスレティックリハビリテーションのケーススタディ				
12	アスレティックリハビリテーションのシミュレーション1				
13	アスレティックリハビリテーションのシミュレーション2				
14	アスレティックリハビリテーションのシミュレーション3				
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		公認アスレティックトレーナー 専門科目 (財) 日本体育協会 (財) 日本体育協会 テキスト1～9			
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 定期試験を実施		【履修上の留意点】 日体協公認AT資格取得希望者は、体カトレーニング論実習Ⅰとセットで受講すること。			